

日本の空を、安全・安心で美しく！

# 美空 ~MISORA~ 第201号

発行日:2026年5月1日  
発行者:NPO 法人 電線のない街づくり支援ネットワーク  
理事長 高田 昇

## 目次 INDEX

- ・活動報告
  - 東京理事会・合同理事会 …… 1
  - ・第13回全国技術委員会 OSAKA 結果報告子  
国交省部会報告 …… 3
  - 狭隘道路の無電柱化を検証 …… 7
- ・各種イベント紹介 総会・総会セミナー、  
北海道フォーラム、東京シンポ、無電柱化推進展……11

特定非営利活動法人  
電線のない街づくり支援ネットワーク  
THE NETWORK FOR NON POLE COMMUNITY

### 【活動報告】

2026年4月16日(木)17:00~17:30  
東京理事会

会場:日本みち研究所 分室

WEB: Cisco Webex

参加者:8名

1. 本日(4/16)の東京活動委員会の確認
2. 6/3(水)の東京シンポジウムの段取り確認
  - ・チラシ下部に社名を入れる協賛を実施。
3. 6/19(金)の首長会総会の人員確認
  - ・行政報告会にNPO 会員が視聴できるか確認  
→後日になるか。
4. 6/25(木)の東京活動委員会の予定
  - ・昨年は、総会セミナーの振り返りと無電柱化推進展の  
宣伝(JMAさま)
  - ・勉強会的なことをしたほうがいいのか  
→前川理事に総会セミナー候補として紹介していただく。  
→総会セミナー候補は、防災庁担当者を当たってみる。
  - ・東京活動委員会の昼間開催を引き続き検討する。
5. 第14回無電柱化推進展(7/15~17)
  - ・ミニセミナー候補者の選定について
  - ・ネットワーキング交流会について(現状報告)

#### ■ 時間

16日(木) 17:10~18:00

#### ■ 会場について

150~200席規模の講演会場を使用いたします(イメージ  
図を添付いたしましたのでご確認ください)。

#### ■ 飲食について

缶入りのアルコール、ソフトドリンク、および個包装のおつまみ等を用意する予定です。皆様のご歓談をメインとした簡易的な内容を想定しております。

#### ■ 当日の運営・設備について(予定)

- ・主催者は当NPOとし、主催者挨拶をする。
- ・お声がけした来賓のご紹介のあとに簡単なあいさつをお願いする。
- ・司会は当NPOの井上事務局長が行う予定。
- ・その他の時間は歓談などにあてたい。

### 6. 次回予定

5月20日(水) 17:00~17:30 WEBのみ

### 【活動報告】

2026年4月16日(木)17:30~17:50  
合同理事会

17:50より東京都の通信テストを予定。

会場:日本みち研究所 分室

WEB: Cisco Webex

参加者:9名

### 1. 事務局報告

5/14(木) 無電柱化北海道フォーラム2026  
津波から命を守る逃げ切れる北海道へ

無電柱化 北海道フォーラム 2026

参加無料 ※入退出自由

# 津波から命を守る

逃げ切れる北海道へ  
~避難行動の実効性を共に考えよう~

**第一部 基調講演**

災害から命を守る  
デジタル技術の活用

白田 裕一郎氏  
国立研究開発法人防災科学技術研究所  
総合防災情報センター長

北海道における  
無電柱化の取組について

高山 博幸氏  
国土交通省 北海道開発局  
建設部 道路維持課長

**第二部 パネルディスカッション**

あきらめない避難、あきらめさせない社会へ  
~海辺のまちで“助かる”を当たり前にするために~  
避難路をどう守るか

鍵屋 一氏 浅野 幸子氏 湯井 恵美子氏 萩原 亨氏  
北海道庁 防災課長 北海道庁 防災課長 北海道庁 防災課長 北海道庁 防災課長

【ロビー展示】津波から命を守る避難路の実例と課題

2026.05.14 木 14:00~17:30

かでのホール  
かでの2・7 北海道立道民活動センター  
札幌市中央区北2条西7丁目

公益社団法人 土木学会 CPDプログラム認定

お申し込み・お問い合わせは、こちらの二次元バーコードよりお願いいたします。  
当日参加可能! 時間内の入退出自由!! お気軽にお越しください!!!

主催: NPO法人 電線のない街づくり支援ネットワーク 北海道支部  
共催: (一財)北海道道路管理技術センター / (一財)北海道建設技術センター / (一社)北海道開発技術センター  
後援: (国交省) 道路局 / (国交省) 北海道開発局 / (国交省) 北海道運輸局 / (公社) 土木学会 / (国研) 土木研究所 寒地土木研究所  
(公社) 日本技術士会 北海道本部 / (一社) 北海道建設業協会 / (一財) 日本みち研究所 / (一社) 建設コンサルタント協会 北海道支部  
(一社) 北海道建築業協会 / (一社) 日本風土文化協会 / 北海道 / 札幌市 / 釧路市  
NPO法人 電線のない街づくり支援ネットワーク 本部 / (県不同)

14:00~17:30 かでの27(札幌市) (会場のみ)

参加費  
無料

参加申込フォーム クリックで!

## 6/3(水) 無電柱化推進シンポジウム inTOKYO 無電柱化は新しいフェーズへ! ~災害対応の一丁目一番地~

無電柱化推進シンポジウム in TOKYO WEB参加OK! (Cisco Webex 運営)

**テーマ 無電柱化は新しいフェーズへ!**  
「~災害対応の一丁目一番地~」

【基調講演】第9期無電柱化推進計画を検証する  
放送大学教授・当NPO副理事長 松原隆一郎

2026年6月3日(水) 14:00~17:00  
銀座ユニーク貸会議室7丁目店 N-201号室  
東京都中央区銀座7丁目13=15



講演	パネリスト
<p>講演① 藤井久輔 国土交通省道路局 環境安全・防災課 課長補佐</p> <p>講演② 駒田義弘 内閣府政策統括官付参事官(防災計画担当)</p> <p>コーディネーター 松原隆一郎 放送大学教授・当NPO副理事長</p>	<p>パネリスト</p> <p>小園 拓志 京都大学大学院 都市計画学 教授</p> <p>大庭 哲治 京都大学大学院 都市計画学 准教授</p> <p>新宮 裕也 一般社団法人 送電電 横協賛会 工務部 副部長</p> <p>井上 利一 シェアリングSWG 代表 当NPO事務局長</p>

■ 当日のスケジュール

14:00 主催者挨拶 当NPO東京支部長 北村良

<第1部 講演>

14:05 ①第9期無電柱化推進計画の概要 国土交通省道路局環境安全・防災課 課長補佐 藤井久輔

14:25 ②首都直下地震と無電柱化 内閣府政策統括官付参事官(防災計画担当) 駒田義弘

14:45 【基調講演】第9期無電柱化推進計画を検証する 放送大学教授・当NPO副理事長 松原隆一郎

15:10~15:30 \*\*\* 休憩・協賛展示見学 \*\*\*

<第2部 パネルディスカッション>


15:30 テーマ:第9期無電柱化推進計画で何がかわるのか

16:55 当NPOからのお知らせ 当NPO理事・事務局長 井上利一

17:00 閉会

17:30 交流会 延島 新橋本店(新橋1-5-6 銀座第3ビル5F)

◆参加費:無料 (一般の方も参加可)  
◆交流会:17:30~ 5,500円  
◆資料代:1,000円 (希望者・データ選別)  
◆問い合わせ NPO法人電線のない街づくり支援ネットワーク TEL.06-6381-4000 FAX.06-6381-3999 事務局(塚田)tsukada@nponpc.net  
◆主催 ◆ NPO法人電線のない街づくり支援ネットワーク  
◆共催 ◆ 一般財団法人日本みち研究所  
◆後援(予定) ◆ 国土交通省 道路局 NPO法人「日本で最も美しい村」連合 無電柱化を推進する市区町村長の会



協賛企業

戸田道路(株)	SSFホールディングス(株)	(株)フクダ	(有)東松建設
(株)とだか建設	新興電設(株)	(株)秋本組	岩崎電気(株)
特定非営利活動法人 東日本セキスイ商事(株)	ナカセラータカ(株)	(株)ホウキマックス	(株)オーイケ
快速まちづくり支援センター	ネスト沖縄(株)	原田電機(株)	(株)シオリゾーム

## 14:00~17:00 銀座ユニーク貸会議室7丁目店 (WEB有)

**参加費 無料** 参加申込フォーム クリックで!

### 6/19(金) NPO 総会・総会セミナー

17:00~18:30 大阪市立総合生涯学習センター5階第1研修室 (WEB有)

社員総会 15:00~16:00

活動方針・意見交換 16:00~16:30

### 6/25(木) 東京活動委員会

18:00~19:15 住友林業会議室 M-6 (WEB有)

### 7/15(水)~17(金) 第14回無電柱化推進展

東京ビッグサイト 10:00~17:00

7/16(木)には、NPO主催で無電柱化交流会(名刺交換会)の企画を検討中。17:10~18:00 別会場で

## 2. 北海道フォーラム 2026 の進捗について

- ・4/20 現在、140名の申込参加数。240名以上を目標に展開
- ・会場ロビーで実施するパネル展示のパネルを製作中  
中国の防災政策(巨大地震対策)  
北海道における津波リスク  
自治体の津波避難計画  
避難路の安全確保と無電柱化  
という流れで構成し、津波避難を支える社会インフラとしての無電柱化の役割を考える内容とする予定
- ・道内の関係機関、関係者にポスター貼付・チラシ配布を展開されています。

## 3. 無電柱化推進シンポジウム inTOKYO の協賛企画について

1. 展示協賛 募集中
2. 資料封入 募集中
3. チラシ協賛 終了

## 4. 総会セミナーについて

日程は6/19(金)で決定

場所は、大阪市立総合生涯学習センター5階 第1研修室

講師は、1名は国交省の藤井課長補佐にお願いしていますが、残りの1名を加えたい。

## 5. 無電柱化推進展の展開について

### ■ 2ブース、早期割引で申込

### ■ 無電柱化関係者のコンストラクションステージ(復活)

7/15(水) 10:20~11:00 (40分) 東京都建設局

7/16(木) 16:20~17:00 (40分) 国交省道路局

7/17(金) 12:20~13:00 (40分) 東京都都市整備局

### ■ ネットワーキング交流会について (新企画・予定)



イメージ図

### ・時間

7月16日(木) 17:10~18:00

### ・会場について

150~200席規模の講演会場を使用予定。

### ・飲食について

缶入りのアルコール、ソフトドリンク、および個包装のおつまみ等を用意する予定です。皆様のご談話をメインとした簡易的な内容を想定。

### ・当日の運営・設備について

主催者は当NPOとし、主催者挨拶、お声がけいただいた来賓のかたのご紹介をさせていただいたあとに簡単なあいさつを賜ればと考えております。司会は当NPOの井上事務局長が行う予定です。その他の時間は歓談などにあてたい。

### ■ 協賛展示について

フロアは昨年と同様に製品展示とポスター・パネル展示など、壁面パネルは無電柱化の施工工程を予定。

### ■ ミニセミナーについて

7/16(木)は、関係者の交流会招聘のため、関係者は7/16中心で検討したい。

井上事務局長、前川理事、北村理事にはミニセミナーの講演をお願いしたい。

## 6. 防災こくたい2026 10/17(土)~18(日)

※鳥取県倉吉市

※ブース出展での申込を考えたい。

## 7. 次回予定

5月20日(水) WEBのみ

東京理事会 17:00~17:30

合同理事会 17:30~18:00

正会員/首長会会員限定 **4/10(金)開催**  
**第14回** **15:00~16:45**  
**全国技術委員会OSAKA**  
**次期無電柱化推進計画を見据え、  
 無電柱化の課題や提案を考えよう!**  
**大阪市立総合生涯学習センター 5階第3研修室** **ここをクリック!**



狭隘道路の無電柱化は進むのか!

**本勉強会の動画案内 (ユ-チューブ限定公開)**

1. 国交省 無電柱化 WG 報告(井上事務局長)  
 <https://youtu.be/PEZZw3q1T7w>
2. 隘路における無電柱化を考える(佐伯理事)  
 <https://youtu.be/3AL0jPHvD7s>
3. ゾーン 30 の無電柱化について(井上理事)  
 <https://youtu.be/IyP9Vpu23UI>



4月10日(金)に大阪本部主催で、第13回全国技術委員会 OSAKA が開催されました。  
 場所:大阪市立総合生涯学習センター、5階第3研修室 参加者:会場9名・WEB 14名

◆当日のスケジュール◆

- |                                                                            |             |
|----------------------------------------------------------------------------|-------------|
| 1. 荒関本部長より                                                                 | 15:00~15:05 |
| 2. 国交省部会の概要報告 ~今後の無電柱化のゆくえを探る~<br>R7-3 面整備 WG(3/13)・R7-3 無電柱化推進技術検討会(3/17) | 15:05~15:25 |
| 3. ゾーン 30 での無電柱化について考える<br>隘路の無電柱化&自転車の法改正について<br>ゾーン 30 での無電柱化(道路断面と施工条件) | 15:25~16:25 |
| 4. 事務局報告<br>今後展開する各種イベントをご紹介します                                            | 16:25~16:45 |

**国交省 R7-3 面整備事業における無電柱化推進 WG の概要報告(3/13)**

今回は非公開資料が含まれているので概説のみで失礼します。

……NPO 無電柱ネット 井上事務局長……

今回の議題は2点

- (1)「市街地開発事業における無電柱化推進のためのガイドライン」の改訂(素案)について
- (2)「開発事業における無電柱化推進のためのガイドライン」の改訂(素案)等について

**(1)「市街地開発事業における無電柱化推進のためのガイドライン」の改訂(素案)について**

改訂のポイント

・ガイドラインの構成中の**導入検討段階**・**工法検討段階**・**合意形成段階**の3点について、**直面している課題に対応するための記載を充実化!**

・無電柱化費用のケーススタディ	……	<b>導入検討段階</b>	(問題・課題・方策)
・コスト縮減に向けた取り組み	……	<b>工法検討段階</b>	(問題・課題・方策)
・関係者間の合意形成における留意点	……	<b>合意形成段階</b>	(問題・課題・方策)

**記載を充実!**  
令和8年春 発行予定

○低コスト手法の更なる導入促進に向けて、地方公共団体や施行者(組合等)への調査・ヒアリングの結果等を踏まえ、低コスト手法の採用に至るプロセスである**導入検討段階・工法検討段階・合意形成段階**、それぞれの段階において直面している課題に対応するための記載を充実化し、**令和8年春頃**に改訂予定。

**新しいガイドでは、低コスト手法活用を二つに分けて充実！**

**1. 無電柱化による低コスト手法**

- (1) 地中化構造の工夫
- (2) 管路材業の工夫
- (3) 設計施工の工夫
- (4) その他の工夫

**2. 市街地開発事業の特性に応じた低コスト手法の活用**

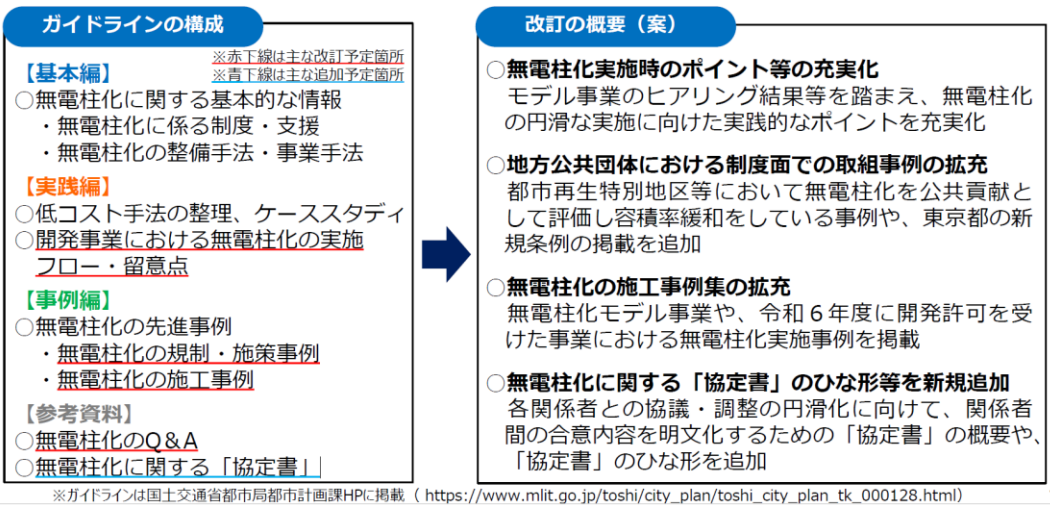
- (1) 低コスト手法導入条件の整理
- (2) 市街地特性からみた市街地開発事業の事業タイプ
- (3) 事業タイプ別の低コスト手法活用パターン (5パターン)**

できるだけ多くの事例を載せる予定

**(2)「開発事業における無電柱化推進のためのガイドライン」の改訂(素案)等について**

**【改訂のポイント】**

○地方公共団体や開発事業者への調査・ヒアリングの結果等を踏まえ、無電柱化実施時のポイント・留意点や、無電柱化事例集、地方公共団体における制度面での取組の記載等を充実するとともに、開発事業における無電柱化を円滑に実施するための**「協定書」ひな形の新規追加**等を図り、**令和8年度中に改訂予定**。



**無電柱化実施時のポイント等の充実**

無電柱化実施時の段階別・主体別のポイント・留意点について、以下の内容等を追記。

**●開発事業者におけるポイント・留意点**

▶ **協定書の締結に係る調整**

- ・関係主体間において、無電柱化施設の施工主体と費用負担、維持管理区分等の合意内容を「協定書」として取り交わす場合があるため、各主体の協定書の締結意向を、企画・検討段階から確認することが望ましい

**●地方公共団体におけるポイント・留意点**

▶ **電線共同溝法の路線指定に係る検討**

- ・要請者負担方式で無電柱化した開発道路を、整備後に電線共同溝法に基づく路線指定することも可能
- ・交付時点で路線指定されておらず、要請者負担方式で整備される場合は、無電柱化まちづくり促進事業の交付対象

▶ **低コスト化に向けた協議・調整**

- ・要請者負担方式の場合、電線共同溝整備マニュアル等に記載の標準的な規格に関わらず、土地利用計画、想定される電力需要によっては、低コスト化(特殊部のコンパクト化等)が可能な場合があるため、各関係者と協議・調整することが重要

**●電線管理者におけるポイント・留意点**

▶ **宅地内への引込工事に関する調整**

- ・道路管理者へ移管が予定されている道路の場合、移管前であっても入線工事を行うことは可能
- ・ただし、道路管理者の施工基準に適合する必要があるため、道路管理者や開発事業者との事前の協議・調整が重要

左にある各ポイント・留意点は、新規住宅開発や面整備での無電柱化の今後の焦点になります。

皆様の意見やご質問を承ります。

[nponpc.t@gmail.com](mailto:nponpc.t@gmail.com) (担当:塚田)

今回は非公開資料が含まれているので概説のみで失礼します。

## 今回の議事

### (1) コスト縮減

- ・平成7年当時の設備構造の報告[電力・通信]
- ・電力 SWG 報告
- ・通信 SWG 報告
- ・排水側溝を活用した無電柱化の検討状況
- ・昼間施工・常設作業帯の普及促進について

### (2) スピードアップ

- ・包括委託等の普及促進について
- ・電柱撤去の迅速化：推進方策の方向性

### (3) R8年度の検討体制と実施予定

## 電力 SWG の実施状況

○R7年度については、以下の項目について検討を進めており、途中経過について報告

<特殊部(低圧分岐柵・電力Ⅱ型)のコンパクト化>

- ・低圧分岐柵における分岐数拡大に向けた検討
- ・電力Ⅱ型の高圧接続有りの場合の最小サイズおよびラック間距離の検討

<地上配線の適用>

- ・地上配線の適用箇所拡大に向けた検討

○電力SWGとしては、特殊部Ⅱ型の最小サイズにおける作業性検証および低圧分岐柵の分岐数拡大を図っており、通信 SWG や道路管理者様はじめ関係者と協力して、適切な役割分担のもと無電柱化工事を進めていくとともに、引き続き、特殊部のコンパクト化などのコスト縮減の検討も進めていく。

## 通信 SWG 検討状況

- 特殊部コンパクト化 I型特殊部のコンパクト化に向けた考え方の整理、通信特殊部の超コンパクト化検討
- 径間距離の長延化 長延化判断フローの策定および手引きへの反映に向けた運用整理
- 引込管路の共有化 φ75管による一管共用化の検討(電力SWGと連携)
- 新たな配線方式 実道検証、道路法上の埋設深さへの対応を踏まえた簡易敷設光ファイバーケーブルの導入
- 新たな敷設方式 1管多条敷設方式(自社ケーブル・φ75mm単管のみ)の導入

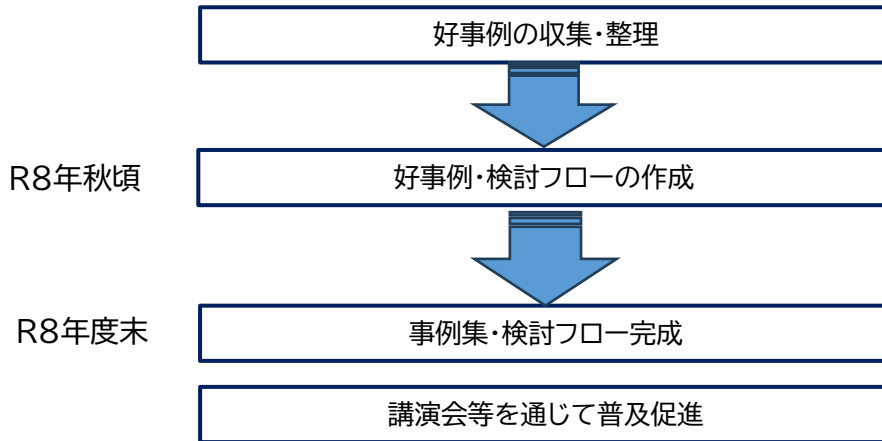
## 排水側溝を活用した無電柱化の検討状況

- 排水側溝への雨水流入、管路の遮水性について、異物流入について、電圧階級について意見交換をする。
- 無電柱化における排水側溝を活用した側溝配線の手引(素案)概要の説明
  - ・側溝配線は、道路の排水側溝の余裕断面の活用等からケーブルを収容することで無電柱化する構造
  - ・更なる低コスト化の推進や整備手法の多様化等を目指した無電柱化の構造
  - ・モデル地区における様々な課題検証等を踏まえ、側溝配線の適用をより一層推進していくことを目的に手引きを作成

## 昼間施工・常設作業帯の普及促進について

- 実施が制約される条件(狭小な道路幅員、歩道がない、自動車交通量が多い等)においても、昼間施工・常設作業帯の実施事例等が存在。
- 昼間施工・常設作業帯を幅広く普及させるためには、実施が制約される条件等での事例等の周知・広報等が有効。このため、事例を深掘りし、参考となる事例集を作成。また、交通管理者等との協議事項やその説明資料を収集し展開。

国交省道路局【昼間施工・常設作業帯】事例集の作成



管路整備後の電柱撤去の迅速化に向けた検討の方向性（令和7年10月1日あり方委員会資料抜粋）

○電柱撤去の迅速化に向けて明らかとなった課題を踏まえ、以下の取組により速やかな電柱撤去を進める。

- ・電柱撤去を考慮した「工事ロットの設定ガイド」の作成
- ・「合意形成の進め方ガイド(案)」に電柱撤去の円滑化に関する観点を追記
- ・事業化段階での既設占用制限の適用
- ・本体管と引込管の同時施工などの工程の見直し 等

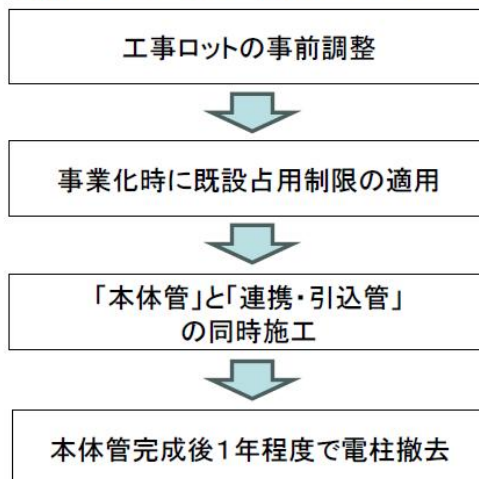
【電柱撤去の迅速化に向けたプロセスの改善】



電線共同溝合同調整会議等を活用した関係者との調整



本体管と連携・引込管の同時施工



速やかな電柱撤去

「現状難しい」から  
「どう施工していけばできるか」  
に意識をかえるチャンス！

令和8年度の検討体制と実施予定

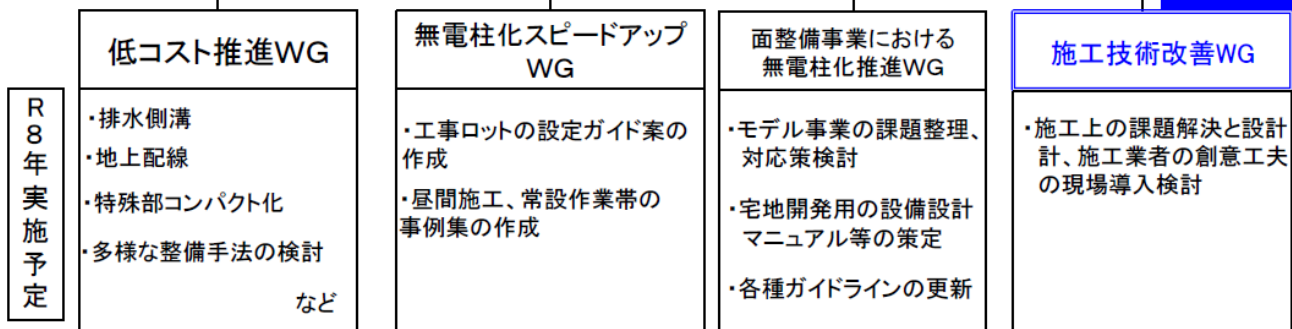
無電柱化推進技術検討会※

※屋井委員長

注目!!

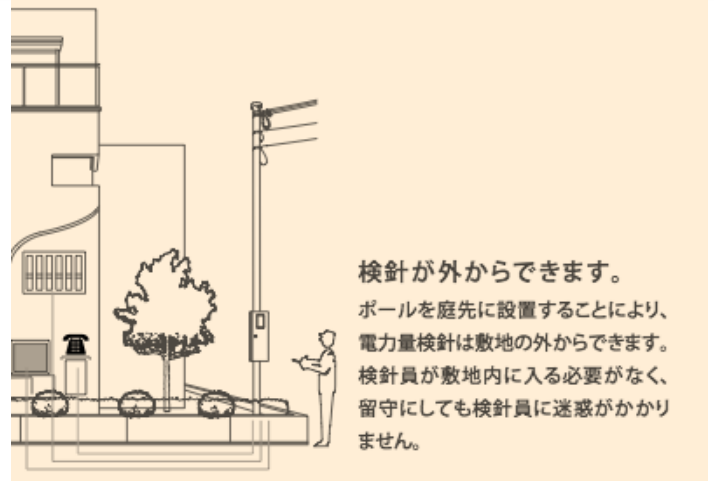


【設置】



隘路の無電柱化を迅速に行う方法を考える

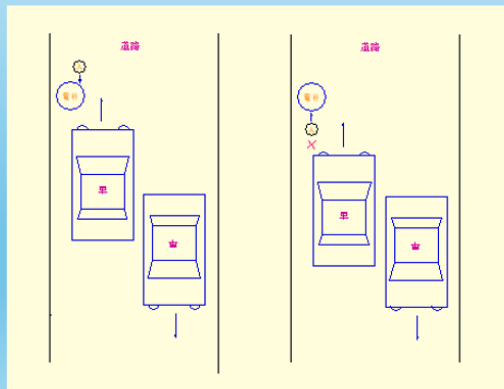
- ① 現在、車が通れない電柱の設置場所の下には埋設物が無い為、埋設物を設置するには最適な場所の一つ
- ② 存在する電柱の設置場所は道路の端であり埋設物への車両の荷重もある程度軽減できる場所と考えられる(車道 T-8 等)
- ③ 元の引込位置が高さ違いの同じ場所から行えるので配線についても移行が容易に行える可能性が高い(例: スッキリポールやマンション)。



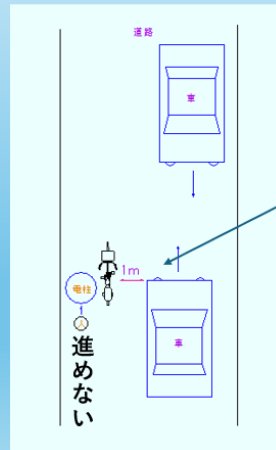
後半に行く前に

前回、電柱が道路上にあってはいけない理由。を図にしましたが、R8.4.1~の改正道交法(自転車の車道通行)により更に状況は酷くなりました。

前回(R8.2.6)



R8.4.1~…詰んだ状態



車両が自転車を追い抜く場合は、1m程度以上の間隔を確保する事。

自転車走行に関わる啓発が電柱に貼られている ※2018年なので仕方ないですが

自転車走行に係る啓発用看板(電柱幕)による「みえる化」進展中！！

2018.05.25

本日、5月25日(金)に中京区の柳馬場通の神小路~二条通間に自転車走行に係る啓発用看板(電柱幕)を、道路を管理する西部土木事務所と連携して設置しました。本デザインは、京都女子大学(生活デザイン研究所)の出井豊二特任教授と学生のみなさんに作成を依頼したものです。外国人にも分かりやすいピクトグラムを活用したデザインとなっています。

今後は、現在実施している矢羽根等の路面表示の整備に併せて、自転車走行に係るルールやマナーの更なる向上を図るため、啓発用看板の設置も進めていきます！



自転車走行に係る啓発用看板(電柱幕)が東大

2018.03.30

昨日、デザインを担当した京都女子大学(生活デザイン研究所)の出井豊二特任教授と学生の皆さんから京都市長に対して報告いただいた啓発用看板デザインについて、大学の周辺や観光客が多い東大路通(四条通~今福野橋)に電柱幕として本日設置しました。

東大路通での設置以降は、大学の周辺や観光客が多いエリア等に、順次設置していく予定です。

今後は、現在実施している矢羽根等の路面表示の整備に併せて、啓発用看板の設置も進めていきます！



# 自転車道と無電柱化整備は相性が良い！？

2023.04.09(日) ● Post:2  
**本町田「市道町田623号線」無電柱化に向け、一部歩道を再整備。自転車レーンも**

地域 本町田・篠の台地区



## 東京都町田市

町田消防署前の「市道町田623号線」無電柱化工事が始まる。西側から街路樹伐採の続きです。

町田市では「町田市道 町田623号線(町田消防署前面道路)」の一部区間において2022年8月中旬から無電柱化に向けた電線共同溝設置・道路改良工事が進められていましたが、2023年3月下旬に工事終了し、無電柱化準備として街路樹伐採と電線共同溝設置のほか、一部区間では歩道再整備と自転車レーンが新設されました。

→地図を表示 (東京都町田市本町田)

2026年度完成に向け、段階的に整備を進める



これは、2017年11月に中町から本町田へ移転移設した「町田消防署(本署)」が立地する市道町田623号線が防災上重要な路線となることから、防災機能の向上などを図る目的で市が無電柱化を進めているもので、今回が初の工事となりました。



<写真> 工事着手時と工事完了後の比較。歩道の幅が広がり、自転車レーンも整備された。今回は、町田本町田二丁目二丁目～鎌倉街道 木倉団地車交差点までの区間で先行して工事を実施し、工事の支援となる高木の街路樹の一部を西側から順次伐採したほか、西側の延長187mの区間では電線埋地化時に使用する電線共同溝用の「九ノヤストボックス」や「電線材」を地中に埋設し、既設樹木を集水効果の高い「都市型樹溝」に交換され、歩道の幅も従来より広くなりました。



**写真を見る限り無電柱化の施工をしやすい場所がありそう。**

## 実は2024年にNPO内で発表していた。 「自転車通行空間の整備が無電柱化の推進に繋がる」

**自転車通行空間の整備が無電柱化の推進に繋がる！**

発行日：2024年4月20日 | NPO法人 電線のない街づくり支援ネットワーク

自転車は、私たちの暮らしを支える生活必需品として深く根付いており欠かせないものである。毎日、国土交通省による「安全で快適な自転車利用環境づくりガイドライン」の改定が発表された。「安全で快適な自転車利用環境づくり」の観点から、自転車通行空間の整備が計画されているように、無電柱化も「安全で快適な自転車利用環境づくり」の観点から、無電柱化の推進と並行して自転車通行空間を整備していくことが提議されている。

**安全で快適な自転車利用環境づくりガイドライン** | **電線のない街づくり支援ネットワークの提議**

多摩地区及び多摩圏内（本編）：多摩地区の無電柱化の推進と並行して自転車通行空間を整備していくことが提議されている。多摩地区の無電柱化の推進と並行して自転車通行空間を整備していくことが提議されている。多摩地区の無電柱化の推進と並行して自転車通行空間を整備していくことが提議されている。

図 1-15 無電柱化（電線埋地化）事業との連携イメージ

この計画によって安全確保している自転車乗車率の減少や、自転車利用者が減少することによって環境への影響が軽減できるのではないだろうか。自転車乗車率が多いため現状はともかく、地元により整備が促されることで、自転車と歩行者が共存する環境はより良いものになる。

世界標準の自転車大国であるドイツでは自転車専用道路が整備されている。具体的には、車道の1車線が完全に自転車専用道路となっており、車道と区別しやすいようカラー舗装が施されている。また、歩行者の侵入を防ぐことももちろん、自転車専用道路によって通行スペースを確保しやすく交通事故が減少していく増加の一つとなっている。日本の自転車専用道路は海外に比べて整備が早く進められたい。

この計画が自転車通行空間の整備に貢献するものとなしてほしい。

ドイツは無電柱化率はほぼ100%の国であるため、今回のような一つひとつの事業とあわせることで日本の無電柱化の進捗は人ではいまいが、現状は無電柱化は手段とコスト・時期が非常に異なるため、より適切な対応が必要となる。

その際、互いにそれぞれの事業の進捗状況とコスト率に合わせた連携が重要となる。自転車は、自転車と歩行者の共存であるため、現在規定される歩行者と自転車との共存が求められる可能性がある。



**自転車通行空間の整備が無電柱化の推進に繋がる！ | NPO法人 電線のない街づくり支援ネットワーク**  
 是非、記事を読んでみてください！  
 記事作成協力：NPO 大阪・井上理事

無電柱化を進める絶好の貴か気でもあるため、本計画に基づく事業の進展に大いに期待したい。 作成者: ボランティア学生: 大竹さん

R8改正道交法(自転車の車道通行)は道路中央の黄色実線時の追い越し方法等、一部で緩和が見られていますが現状は自転車道がない事による混乱が多い事から、今後は自転車道の整備が促進されるものと予測されますので、指針等を見つより無電柱化と結び付けて、安全と効率のよい無電柱化となる様に新しい情報を取り入れて進めます。

# ゾーン30での無電柱化について ……NPO 無電柱ネット 井上理事……

当日資料の一部を紹介！ 具体的な事例や狭隘道路の無電柱化断面案は、p.3のユーチューブ動画で

## 1. ゾーン30の無電柱化

### ゾーン30プラスとは

ゾーン30プラスとは、生活道路における人優先の安全・安心な通行空間の整備の更なる推進を図るため、最高速度30キロ毎時の区域規制と、狭さくやスラローム等の物理的デバイスの適切な組合せにより交通安全の向上を図ろうとする区域のことをいい、**警察と道路管理者が連携して全国的に整備を進めているもの**

### ゾーン30の指定がある個所の特徴

#### ○狭隘道路である

- 電柱が道路断面(路側帯)にある
- ソフト地中化(柱状トランスなど)が難しい
- 歩道が小さい、またはない
- 比較的小さい交通量



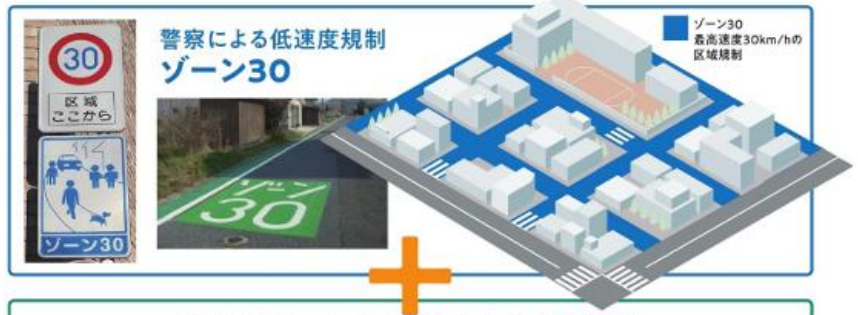
実証実験による設置例(東一条通)

交通規制(片側交互)が難しい  
現在電柱が立っているところに管路を埋設できない

#### ○沿道に民家が連続している

- 道路断面にインフラ(水道・下水・ガス)が輻輳
- 各戸への引き込みが多い
- 夜間人口が多い
- 比較的人口が密集
- 学童の通行

既存インフラの上越しで浅層埋設とする必要がある  
大きな騒音を出せない(特に夜間)  
分岐柵が多く必要  
合意形成が難航しがち



**無電柱化することが容易ではないのに、あえてゾーン30、ゾーン30プラスの無電柱化を国交省が示していることについて**

防災を目的とした無電柱化が、緊急輸送道路から整備するという指針をかかげて、進めているのと同様に、良好な歩行空間確保を目的とした無電柱化も指針となるものを示した。それがバリアフリーや通学路の安全確保、ゾーン30、ゾーン30プラスの無電柱化を指針としたのでは。その根拠となる資料として、令和7年度第5回 無電柱化推進のあり方検討委員会の配布資料「次期無電柱化推進計画参考資料集」のp.7、p.16、p.18、p.25などの記載を参考にさせていただきたい。

<https://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-council/chicyuka/pdf23/03.pdf>

○ゾーン30対策済みである

→狭窄、クランプ、路面標示などの対策がなされている場合がある

- **最高速度30km/hの区域規制と物理的デバイスとの適切な組合せ**により交通安全の向上を図ろうとする区域を「ゾーン30プラス」として設定

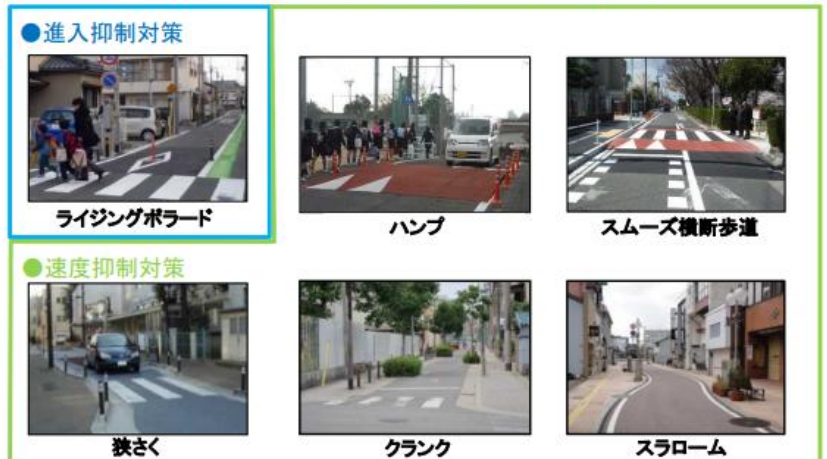
- 道路管理者と警察が緊密に連携し、**地域住民等の合意形成を図りながら**、生活道路における人優先の安全・安心な通行空間を整備



＜警察による交通規制＞



＜道路管理者による物理的デバイスの設置＞



令和6年3月末時点「ゾーン30プラス」整備計画192地区策定済

令和7年3月28日 国交省 国土技術政策総合研究所 資料による

<https://www.nilim.go.jp/lab/bcg/kisya/journal/kisya20250328.pdf>

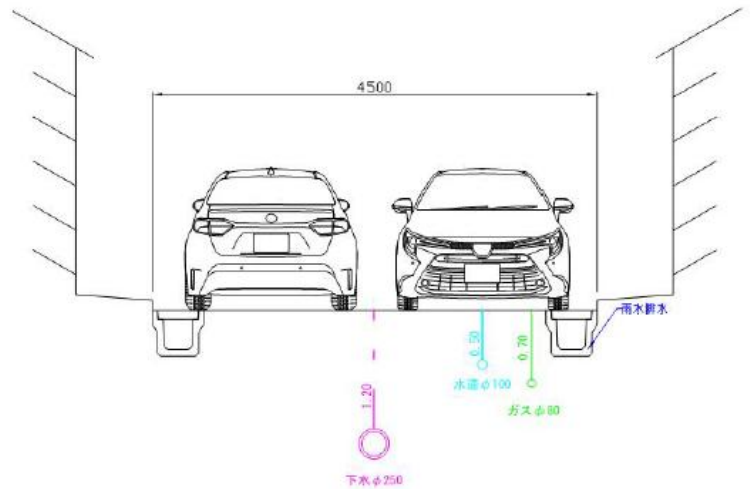


現道の改変を嫌う  
復旧時の手間が多い

ゾーン30の指定がある個所での無電柱化工事の条件

- 昼間の一時通行止めで実施
- 仮設柱を立てない(電線の架け替えを行わない)
- 浅層埋設化
- 道路中央に設置し、両側に向けて引き込み配線
- 側溝は下越し、または貫通配管
- 民家が連続している個所は小型ボックスを活用
- 交通量・車両に合わせたスペックの材料
- 機器柵は路外またはなるべく道路脇に設置

## 2. 狭隘道路の無電柱化断面案



幅員4.5m 車道部 N4交通  
舗装厚50cm：AS 5cm、上層路盤15cm、下層路盤30cm)  
民家が連続  
下水・水道・ガス・雨水排水  
普通自動車～トラック程度 (T-8)、250台/日程度

**【必見！】** 井上理事が、狭隘道路の無電柱化断面案を提示して、解説されています。  
詳細は、YouTube動画をご覧ください。→ <https://youtu.be/IyP9Vpu23UI>

### イベント案内①

6/19(金)第19回 NPO 無電柱ネット総会セミナーの参加申込はココをクリック!

CLICK



## 6/19(金)開催、第19回 NPO 無電柱ネット社員総会 総会セミナーのご案内

**【日時】** 2026年6月19日(金) 14:30 受付開始 15:00 開会  
**【会場】** 大阪市立総合生涯学習センター 5階 第1研修室  
住所:大阪市北区梅田1丁目2-2-500 大阪駅前第2ビル

**【プログラム】** 15:00～16:00 NPO 社員総会 (14:30～ 受付開始)  
16:00～16:30 各支部方針発表  
※NPO 正会員対象。  
16:30～17:00 セミナー準備・受付  
17:00～18:40 NPO 総会セミナー  
※講師を招いての講演を予定  
18:40～ 閉会・撤収  
※閉会后、会場近くの飲食店で交流会を予定



無電柱化 北海道フォーラム 2026

参加  
無料

※入退出自由

# 津波から命を守る

逃げ切れる北海道へ

～避難行動の実効性を共に考えよう～

## 第一部 基調講演



災害から命を守る  
デジタル技術の活用

白田 裕一郎 氏  
国立研究開発法人防災科学技術研究所  
総合防災情報センター長

北海道における  
無電柱化の取組について

高山 博幸 氏  
国土交通省 北海道開発局  
建設部 道路維持課長



## 第二部 パネルディスカッション

あきらめない避難、あきらめさせない社会へ  
～海辺のまちで“助かる”を当たり前にするために～  
避難路をどう守るか

コーディネーター  
防災



鍵屋 一 氏  
(一社)福祉防災  
コミュニティ協会 代表理事



浅野 幸子 氏  
減災と男女共同参画  
研修推進センター 共同代表



湯井 恵美子 氏  
防災企業連合  
関西そなえ隊 幹事



萩原 亨 氏  
(一財)北海道道路管理  
技術センター 顧問

【ロビー展示】津波から命を守る避難路の実例と課題

2026.05.14 木  
14:00~17:30



かでのホール

かでの2・7 北海道立道民活動センター  
札幌市中央区北2条西7丁目



公益社団法人 土木学会 CPDプログラム認定



お申し込み・お問い合わせは、こちらの二次元バーコードよりお願いいたします。  
当日参加可能！時間内の入退出自由！！お気軽にお越しください！！



主催：NPO法人 電線のない街づくり支援ネットワーク 北海道支部

共催：(一財)北海道道路管理技術センター / (一財)北海道建設技術センター / (一社)北海道開発技術センター

後援：(国交省) 道路局 / (国交省) 北海道開発局 / (国交省) 北海道運輸局 / (公社) 土木学会 / (国研) 土木研究所 寒地土木研究所  
(公社) 日本技術士会 北海道本部 / (一社) 北海道建設業協会 / (一財) 日本みち研究所 / (一社) 建設コンサルタンツ協会 北海道支部

(一社) 北海道舗装事業協会 / (一社) 日本風呂敷文化協会 / 北海道 / 札幌市 / 釧路市

NPO法人 電線のない街づくり支援ネットワーク 本部 / (順不同)

無電柱化推進シンポジウム in TOKYO

特定非営利活動法人  
電線のない街づくり支援ネットワーク  
THE NETWORK FOR NON POLE COMMUNITYWEB参加OK  
(Cisco Webex 運営)

テーマ

# 無電柱化は新しいフェーズへ!

## 「～災害対応の一丁目一番地～」

【基調講演】第9期無電柱化推進計画を検証する  
放送大学教授・当NPO副理事長 松原隆一郎



2026年6月3日(水) 14:00～17:00

銀座ユニーク貸会議室7丁目店 N-201号室  
東京都中央区銀座7丁目13-15



MAP

## 講演

## パネルディスカッション

## 講演①



藤井久暢  
国土交通省道路局  
環境安全・防災課  
課長補佐

## 講演②



駒田義誌  
内閣府政策統括官  
付参事官(防災計  
画担当)

## コーディネーター



屋井 鉄雄  
東京科学大学特任教授  
運輸総合研究所所長  
元アジア交通学会会長



小園 拓志  
長野県御代田町長  
無電柱化を推進する  
市区町村長の会監事

## パネリスト



大庭 哲治  
京都大学大学院教授  
国交省無電柱化推進  
技術検討会委員



新留 裕也  
一般社団法人送配電  
網協議会工務部  
副部長



井上 利一  
ジオリズム代表  
国交省民間SWG主査  
当NPO事務局長

## ■ 当日のスケジュール

- 14:00 主催者挨拶 当NPO東京支部長 北村 良  
 <<第1部 講演>>  
 14:05 ①第9期無電柱化推進計画の概要  
 国土交通省道路局環境安全・防災課 課長補佐 藤井久暢  
 14:25 ②首都直下地震と無電柱化  
 内閣府政策統括官付参事官(防災計画担当) 駒田義誌  
 14:45 【基調講演】第9期無電柱化推進計画を検証する  
 放送大学教授・当NPO副理事長 松原隆一郎  
 15:10～15:30 \*\*\* 休憩・協賛展示見学 \*\*\*  
 <<第2部 パネルディスカッション>>  
 15:30 テーマ:第9期無電柱化推進計画で何かわるのか  
 16:55 当NPOからのお知らせ 当NPO理事・事務局長 井上利一  
 17:00 閉会  
 17:30 交流会 姫島 新橋本店(新橋1-5-6 銀座第3誠和ビル 5F)

◆参加費:無 料(一般の方も参加可)

◆交流会:17:30～ 5,500円

◆資料代:1,000円(希望者・データ渡し)

◆問い合わせ

NPO法人電線のない街づくり支援ネットワーク  
 TEL:06-6381-4000 FAX:06-6381-3999  
 事務局(塚田) [tsukada@nponpc.net](mailto:tsukada@nponpc.net)

◆主催◆

NPO法人電線のない街づくり支援ネットワーク

◆共催◆

一般財団法人日本みち研究所

◆後援(予定)◆

国土交通省 道路局  
 NPO法人「日本で最も美しい村」連合  
 無電柱化を推進する市区町村長の会

↑参加申込  
はこちら

## 協賛企業

## &lt;特別協賛&gt;

特定非営利活動法人

快適まちづくり支援センター

戸田道路(株)

(株)とだか建設

東日本セキスイ商事(株)

ネスト沖縄(株)

SSFホールディングス(株)

新興電設(株)

ナガセラータック(株)

原田電機(株)

(株)フクダ

(株)秋本組

(株)クボタケミクス

シンテック(株)

(有)東松建設

岩崎電気(株)

(株)オーイケ

(株)ジオリズム



第14回 **メンテナンス・レジリエンス2026**  
低コストで実現する、新しい街づくり。無電柱化に関する商材に特化した専門展示会

# 無電柱化推進展

出展申込受付中!

会期 **2026. 7.15** WED (水) → **17** FRI (金)

会場 **東京ビッグサイト 東展示棟**

## 無電柱化推進展に出展しませんか?

これまで無電柱化は、防災性の向上、安全性・快適性の確保、良好な景観形成の観点から実施されてきましたが、近年、災害の激甚化・頻発化、あるいは高齢者の増加等により、その必要性が高まっています。特に、近年の台風や豪雨等の災害では、倒木や飛来物起因の電柱倒壊による停電並びに通信障害が長期間に及ぶケースも報告されており、電力や通信のレジリエンス強化も求められているところです。そのような背景のもと、電柱のない街づくりを推進する技術・サービスを発信する専門展示会として本展を開催します。

### 無電柱化推進展の特徴

- 日本で唯一、「無電柱化」に特化した展示会**  
無電柱化に特化した日本で唯一の B to B 専門展示会です。
- 「メンテナンス・レジリエンス2026」の構成展示会として開催**  
12の専門展示会が集まる「メンテナンス・レジリエンス2026」の中での開催により、相互に関連のある建設・製造業の約32,000名を超える方が一堂に会します(予定)
- 質の高い来場者**  
2025年開催の「メンテナンス・レジリエンス TOKYO 2025」の総来場者32,392名中、課長以上の役職の方の割合が40%を超えています! 決定権のある方に出会えるチャンスです!

# 無電柱化に特化した 専門展示会

詳細を  
ご希望の方は  
裏面より  
お問い合わせください

### メンテナンス・レジリエンス TOKYO 2025 来場業種

総来場者 **32,392**名の業種別来場者内訳(業種)

運輸・交通	1.1% (328人)
イベント・レジャー	1.1% (333人)
高速道路	1.5% (445人)
物流・倉庫	1.5% (447人)
教育機関、研究機関、学生	1.5% (447人)
鉄道	2.1% (647人)
素材・材料	2.7% (813人)
官公庁・地方自治体・団体	3.3% (992人)
電力・ガス	3.8% (1,195人)
鉄鋼・非鉄金属	4.1% (1,234人)
自動車・輸送機器	4.7% (1,416人)
化学・食品・医薬	6.3% (1,900人)
情報・通信・IT/ソフトウェア	6.6% (2,004人)
電機	7.8% (2,381人)
その他メーカー	8.7% (2,639人)
土木・建設・建設コンサル	16.7% (5,062人)
機械・精密機器	12.7% (3,853人)
商社・卸・小売・代理店	12.4% (3,756人)
情報・通信	0.9% (262人)
医療・福祉機器	0.5% (167人)
商業・文芸施設	0.4% (112人)



今年の無電柱化推進展は

- ・2ブースを使って展開
- ・無電柱化低コストにつながる展示を予定
- ・壁面を使って参加者に役立つ展示を実施
- ・専門家を招いての充実したミニセミナーを実施!

主催者である(一社)日本能率協会様からコンストラクションステージで連日無電柱化の講演をします。

7/15(水) 東京都建設局  
7/16(木) 国交省  
※17:10~無電柱化交流会  
7/17(金) 東京都都市整備局

7月に向けて色々検討し、皆さんにご案内していきたいと思ひます。展示協賛もしていますので、ご協力をお願い致します。

## NPO 法人電線のない街づくり支援ネットワークの会員募集

私たちはこのNPOの活動を通して、日本の街に美しい空を取り戻したい、災害に強く、安全安心で住み良い街にしたい。そして“美しい国”を子ども達に残したい。

そういった想いのもと、日本の街を電柱や電線の無い、安全安心で、美しい景観の街にするために、街づくりを行うすべての機関(不動産・デベロッパー・行政等)を支援していきます。

NPO 法人「電線のない街づくり支援ネットワーク」の活動目的に賛同し、支援して下さる方、電線のない街(電線類地中化)を創りたい・子供たちにきれいな空を残したい・街づくりに興味のある個人・企業様を募集しています。ご推薦も是非お願い致します!

会員募集のページ <https://nponpc.net/%e4%bc%9a%e5%93%a1%e5%8b%9f%e9%9b%86/>

